



青葉の笛だより

第49号

令和7年7月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

ご存知のように令和七年六月三日、数々の名勝負を作り、名場面に登場しては人の心に残るプレーをし、選手時代から監督になっても「エツ」というような数多のエピソードを残す、あの長嶋茂雄さんが八十九歳でお亡くなりになりました。この八月から神戸市の敬老パスを頂戴する年になる、私と同世代の多くの野球少年にとって背番号「3」は、正に英雄だったのでないでしょうか。

今から三十二年前の平成五年（一九九三年）、福岡の兄から「長嶋監督に数珠を贈呈することになって、お前も会えるけど北九州までくるか」と言われ、二つ返事で「行きます」と答え、その数日後に北九州市民球場まで行きました。

オープン戦の試合前にグラウンドの見えるスタンド下の小さな部屋で待っていると、ユニフォームにウィンドブレーカー姿の長嶋監督が、燃えるようなオーラを放しながら入ってこられました。兄が挨拶をし、何かを話しながら数珠を贈呈している様子を直立不動で見ていた私がありました。

その後、ニコニコと実家のお寺の写真を見ていた監督が、「おっ」という顔をされ、あの声

がいかれたそうなのです。その時、私は「燃える男、長嶋」と呼ばれた、この室内に入ってしまった長嶋さんのオーラは、お不動様の火焰だったのだと思いました。監督にしてこのオーラなら、現役時代の打席に立った時のオーラはいかほどだったのだろうと思います。

お不動様の右手に持つ剣は、私たちの迷いや苦しみを断ち切る「智慧の剣」であり、左手に持つ索は悩み苦しむ人々が縋りつき、その縋りついた人々をしつかりと繋ぎ止める「慈悲の縄」です。

打席に立てば打たせまいとする投手の球を鋭く振りぬいて歓喜をもたらし、守備に就けば鋭い打球には身を挺し、凡打には華麗な捕球からの送球で私たちを虜にした長嶋さん。火焰のオーラの前に立つ長嶋さんがお不動様だったら、右手にはバットを持ち、左手にはグラブをしておられることでしょうか。

また一人、昭和の良き思い出の方が去っていかれました。

大本山須磨寺 貫主

合掌

小池 弘三



桜壽院 春のバス旅行

去る、四月十五日信貴山へ日帰りバス旅行を致しました。

信貴山朝護孫子寺では若い僧侶にご案内頂きました。宝物館で信貴山縁起などの歴史に感銘を受け、本堂では大般若法要して頂き転読の大力に感動、内陣参拝で厳かな気持ちになりました。また戒壇めぐりでは真つ暗な中、壁つたいに、皆でドキドキしながら歩き、本堂から出てきた時にふもとの景色が清々しく見えたのを覚えていました。

昼食は玉蔵院さんで精進料理を頂き、信貴山を満喫しました。

昼からは酒蔵見学。そして、石切り神社での参拝は、ちょうど宝物館特別公開の日に当たり、太刀「石切丸」、長唄にも出てくる「小狐丸」も見ることが出来ました。

当日はお天気の心配もしましたが傘の出番は一度もありませんでした。道の駅では美味しいイチゴを買い、皆様と共に楽しくお参り出来た事に感謝申し上げます。

秋には高野山へ団体参拝致します。今回は、いつも通り奥之院参拝、上池院で回向、昼食に加え、特別に結縁灌頂に入壇いたします。密教の儀式のひとつで目隠しをして曼荼羅に華を投げ仏様とご縁を頂く重要な儀式です。ぜひ皆さま、仏様とご縁を結んで頂けたらと思っております。



ぜひお誘いあわせのうえにご参加くださいませ。

桜壽院 秋のバス旅行

「高野山団体参拝・結縁灌頂」

日程…令和七年十月三日金曜日

詳細は桜壽院にお聞き下さい。

さくら大師

毎月第二日曜日朝八時から『さくら大師』と名付け、近所のこども達と共に勤めをして、朝ご飯を食べています。

多くの方にご賛同頂き、食べ物の寄付をいただきました。感謝申し上げます。「〇〇さんから〇〇頂いたよ」と伝えると、こども達も目を輝かせて喜び、たくさんの方に支えられていると感じ、改めて感謝しているようです。

本来、食事は人間の欲望の中で大きい存在で、それを満たすことは、嬉しいこと、楽しいことだと考えています。また、食事をすることで、心も癒されます。

こども達は心の中では色々思っていて、学校、家庭、友達、学力、運動など自分の立場を考え生きています。

さくら大師では、勉強しなさい、友達を作りなさい、とは言いません。普段のしがらみとは関係のないところで、単純に「感謝し、マナーを守って、皆で食事を楽しむ」後は、こども達の自主性にまかせて見守る。質素な食事ですがこども達が笑顔で食べている。そんな心休まる場所を提供出来ればと思っています。

八月はお盆なので二十三日に、九月からは通常の第二日曜日朝に行います。ご参加、ご寄付など詳細は桜壽院にお尋ねください。



四萬六千日燈明会 ゝみあかり観音ゝ



四萬六千日とは、観音様のご縁
日で、この日にお参りすると、四
萬六千日参詣したのに相当する功
徳を生ずると言われています。
須磨寺では、本堂において
初盆精霊供養の法要を執り行
い、引き続き境内にろうそく
で形づくられた巨大な観音様
のお顔、みあかり観音の前で読
経し、皆様方の所願成就・萬霊
供養をご祈念申し上げます。そ
の後、本堂前において和太鼓の
奉納演奏などの催しもございま
す。ご知友お誘い合わせてご参
拝下さい。

- 一、日 時 八月九日（土） 午後六時より
- 一、会 場 須磨寺本堂前
- 一、ご供養・ご祈禱料
- | | | |
|------|----|------|
| ろうそく | 一本 | 千円也 |
| 祈禱札 | 一体 | 三千円也 |
| 経木供養 | 一霊 | 三千円也 |

◎須磨寺本堂前寺務所にてお申し込み下さい。

夏・秋の行事案内

◆ 八月

- 九日（土） 四萬六千日燈明会 みあかり観音 〈午後六時〉 須磨寺 本堂
- 十一日（月・祝） 孟蘭盆会
- 十五日（金） 盆大施餓鬼法要 〈午前十時〉 本坊客殿
- 十七日（日） 青葉殿孟蘭盆会法要 〈午前九時・正午・午後三時〉 青葉殿
- 十九日（火） 盆大施餓鬼法要 〈午後二時〉 櫻寿院本堂
- 二十日（水） 盆大施餓鬼法要 〈午後二時〉 蓮生院本堂
- 二十日（水・二十一日（木） 盆大師（ご縁日）
- 二十三日（土） 地藏盆 お菓子のお接待 〈午後三時〉 境内各所

◆ 九月

- 十五日（月・祝） 法話グランプリチャンピオン大会 〈午後一時〉 青葉殿
- 二十日（土） 〆二十六日（金） 彼岸会 特別護摩祈禱 〈午前十時・午後二時〉 護摩堂
- 二十日（土）・二十一日（日） 彼岸大師（ご縁日）

◆ 十月

- 五日（日） 映画「さんまる」上映会 〈午後一時〉 青葉殿
- 十一日（土） 絵本テラピー 〈午後一時〜午後四時〉 青葉殿
- 二十日（月・二十一日（火） 大師縁日
- 二十五日（土） 須磨 夜音 音楽法要祭 〈午後六時〉 境内

◆ 十一月

- 十五日（土） 一絃須磨琴保存会発足六十周年記念演奏会 〈午後二時〉 神戸文化ホール
- 二十日（木）・二十一日（金） 大師縁日
- 二十三日（日） 秋の大祭 須磨の火祭り 柴燈大護摩供 〈午前十一時〉 須磨寺境内



稚児行列



法要



一絃須磨琴の奉納演奏



御詠歌講



人形供養



ドラム演奏



体験ブース

去る四月十三日（日曜日）に、須磨寺春季大祭、のんのまつりを盛大に奉修いたしました。「のんのまつり」は、仏尊・観音尊を示す幼児語「のんのんさま」に由来、子どもからお年寄りまで仏教に親しみを感ずる機会にしたいとの思いから名づけられました。

本堂での本尊慶讃法要をはじめ、法話、一絃須磨琴保存会による一絃須磨琴の奉納演奏、須磨寺御詠歌講による御詠歌の奉納、元ザ・ブルー・ハーツのドラマーの梶原徹也氏のドラムの演奏と共に般若心経の読経が行われました。

境内では、念珠、塗香、ろうそくの製作体験、仏具販売、お寺巡り画家・尾中康宏氏による千手観音揮毫などの特別ブースが設けられ、塔頭正覚院における阿字観瞑想体験、塔頭蓮生院における写経写仏体験、塔頭櫻壽院における「あなただけの散華守り」、キッチンカーの出店など多様なイベントが開催され、いずれも大勢の参拝者の方で賑わいました。

お参りくださいました皆様、お支えくださった皆様へ心より御礼申し上げます。



キッチンカー

須磨寺 春季大祭 のんのんまつり

一の谷不動尊 潮音寺のご案内

本紙にいつも『お寺で学ぶ周活知恵袋』に寄稿させて頂いています潮音寺の住職でございます。今回は自坊のご紹介をさせて頂きたいと思っております。

潮音寺は、一の谷川と赤旗谷川の合流地点に位置し、「源平一の谷の合戦」の古戦場ゆかりの地にあり、源平合戦無名戦士の菩提を祈り祀らるゝが為に建立されました。本堂には本尊十二面観世音菩薩、脇侍に不動明王、閻魔大王、転勝大師（弘法大師）をお祀りしております。また、護摩堂には一の谷不動尊として親しまれている摩崖仏の不動明王をお祀りしております。摩崖仏の不動尊は高さ二・七m、幅二・四二mの大きさで、暦応四年（一二四二）に奈良の辺りで造立されたもので、大阪の豪商の旧藤田男爵が大正初期に移転して須磨の別邸でお祀りされていたお不動さまです。昭和十三年の神戸を襲った大水害で大量の土砂と共に押し流されて埋まってしまうたのですが、篤信の方々が私財を投じて掘り起こして安置し、堂宇を建立されて今日に至ります。その他にも一岩石六地藏尊や二基の板碑、龍王社等も境内にお祀りされています。多くの方が、厄除け、悪縁消滅、良縁成就、病氣平癒や事業繁栄、商売繁盛、会社設立、受験合格、資格試験合格等のご祈願のためにお参りに来られています。本堂や護摩堂にはステンドグラスで造られた金剛界胎藏界の四佛の梵字の灯籠や四大明王や十二天の梵字の灯籠をお祀りし、光の曼荼羅で荘厳されています。お近くにお越しの際ははお参り下さい。また、周活（終活）等に関するご相談の折もお気軽に立ち寄り下さい。



潮音寺護摩堂



潮音寺前景

所在地

神戸市須磨区潮見台町 5-3-3

<https://ichinotani-chouonji.com/>

TEL 078-747-0591

須磨寺青年会
からのお知らせ

真言宗十八本山 お砂ふみ

全真言宗青年連盟様主催の真言宗十八本山お砂ふみが左記の通り開催されます。お砂ふみは書院で開催され、真言宗各本山の境内の「お砂」を一宮に集め、「お砂」を各本山の境内と考え「お砂」をふみながらお参りして頂くことで、実際に真言宗の各本山をお参りしたのと同じく利益を受けて頂けます。「お砂」と共に奉安されている掛軸は、紺紙に金泥で各本山のご本尊の種字とご真言が梵字でしたためられた普段はお参りすることのできない大変貴重なものです。お砂ふみを終えられた方には結願の証として御守を授与して頂けます。またお砂ふみに合わせて、本堂では導師に管長猊下、職衆に全真言宗青年連盟の役員・常任理事様による記念法会、三重塔前広場等では、豊山太鼓千響の太鼓演奏、御詠歌の奉詠、管長猊下と寺務長の法話、青年教師会会員による法話会、その他、塔頭寺院では写経体験（蓮生院）、腕輪念珠・匂い袋作り（貞照寺）、阿字観体験（正覚院）、法衣仏具の展示・試着等（櫻壽院）、お茶の接待（宝物殿）等が行われます。真言宗十八本山の青年僧等がご参詣の皆様には色々な体験、真言密教やお大師様の教えに触れて頂ける機会を設けております。多くの方のお参りをお待ちしております。

記

一、日時 十一月三十日（日）

一、会場 須磨寺境内

本堂・書院・塔頭寺院

一、お砂ふみ入壇料 二千元

※写経体験、腕輪念珠・匂い袋作り等志納金を別途お納め頂く場合がございます。詳細は須磨寺・塔頭寺院・須磨寺派寺院・関係各所のポスターやリーフレットをご確認ください。

※当日の天候や諸事情により開催場所や開催内容に変更が生じることがございます。予めご了承下さい。



お砂ふみ会場

須磨寺の歴史〈三十五〉

須磨寺は戦後に真言宗須磨寺派として独立開宗宣言をし、大本山須磨寺として活動を行い、真言宗各派との交流を行ってきました。近年で代表的なものは二〇二三年（令和五年）五月二十九日に須磨寺一山の僧侶、檀信徒で弘法大師御誕生所である善通寺に赴き、弘法大師御誕生千二百五十年記念大法会を厳修したことです。また、それに先立つ四月二十三日にも須磨寺で記念大法会を厳修しています。

今、真言宗各派総本山では、二〇三四年（令和十六年）の弘法大師入定一二〇〇年御遠忌に向けて動き出していて、須磨寺でも記念法要や各種記念事業を計画しています。ただ、須磨寺の慶事はこれだけではなく、前年の二〇三三年（令和十五年）は源平八五〇年、翌年の二〇三五年（令和十七年）は開山一一五〇年の慶事に当たります。

一九八四年（昭和五十九年）の弘法大師御入定一一五〇年記念大法会の時は十月に宗祖弘法大師御入定一一五〇年御遠忌・当山開創一一〇〇年・敦盛公八〇〇年祭並びに三重塔落慶法要が盛大に厳修され、一九八五年（昭和六十年）四月には源平須磨まつり、十一月には敦盛塚改修記念法要、一九八六年（昭和六十一年）十一月には須磨寺大師堂の移転改修及び等身大の弘法大師像を新たに造立（古い像は胎内佛となる）され法要が催されました。また塔頭も含めて各種記念事業が数多く催されました。

約十年後の各記念年にどのような法要・事業を行うかはまだ未定ですが、皆様に喜ばれるように須磨寺一山励んでいますので、応援賜ります様、よろしくお願いいたします。

蓮生院 七月から十月までの行事予定

写経・瞑想体験会

お寺で写経と瞑想の体験会を致します。経験のない人でも気軽にご参加いただけます。疲れた心を癒しにお越しください。
（写経のみ、瞑想のみの参加も可能です。足を組みやすい服装でお越しください）

日 時…七月二十七日（日）

九月六日（土）

十月十八日（土）・二十六日（日）

写経会十四時～十五時半 瞑想会十六時～十七時半

（受付は三十分前から）

場 所…蓮生院本堂
参加費…写経五百円・瞑想千円

護摩行

毎月、二十一日十四時から厄除け大師堂で、二十八日十四時から蓮生院本堂で護摩を致します。お参りは自由なので、護摩行中はご自由にお入りください。

- 写経・瞑想体験会は事前申し込み制です。
- 数日前から発熱、咳、下痢、頭痛、息苦しさなどありましたら、参加はご遠慮下さい。
- 当日お昼までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくかお電話でお申し込みください。
- 諸事情により取りやめになることがあります。

蓮生院電話番号 〇七八―七三一―二三一一

令和7年 年忌一覧

一周忌	令和六年亡	二十五回忌	平成十三年亡
三回忌	令和五年亡	二十七回忌	平成十一年亡
七回忌	令和元年亡	三十三回忌	平成五年亡
十三回忌	平成二十五年亡	三十七回忌	平成元年亡
十七回忌	平成二十一年亡	五十回忌	昭和五十一年亡
二十三回忌	平成十五年亡	百回忌	大正十五年亡

須磨寺 毘沙門天像 造立



この度、須磨寺寺務所上のお堂にて、新たに毘沙門天像を造立することになりました。

寺務所上のお堂は雨漏りが激しく、お堂を改修することとなりました。

そこで、新たな毘沙門天を造立してお祀りし、これまでのお像は、参道の昭和寺の脇仏として遷座しお祀りすることになりました。

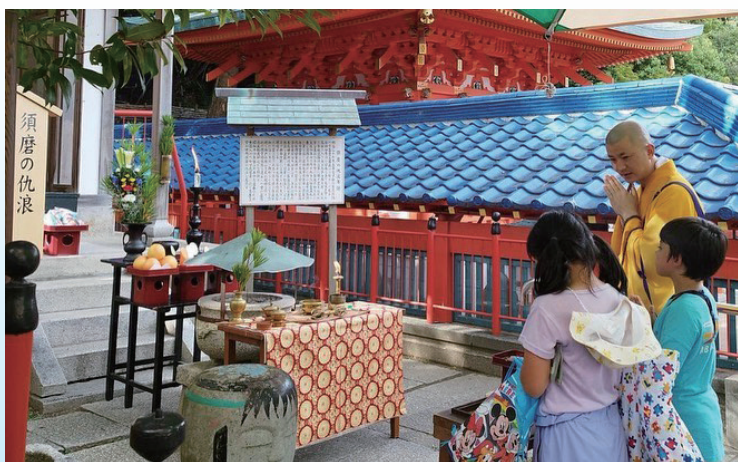
そして、須磨寺の本堂宮殿の中にお祀りされている聖天（歓喜天）像を、新たな毘沙門天の御前にて円壇を構えお祀りすることになりました。

毘沙門天像は、令和八年秋頃の完成を目指しております。

皆様には、ご寄進・ご寄付をお願い申し上げます。

寺務所受付にて、承ります。

何卒よろしくお願い申し上げます。



須磨寺 地蔵盆

今年も、須磨寺境内、4か所（親子地蔵、櫻壽院、蓮生院、正覚院）にて、地蔵盆を行います。地蔵盆とは、子どもたちの無病息災を願う、子どもが主役のおまつりです。お地蔵さまに、お菓子をお供えし、お参りに来られた子どもたちにも、お菓子をお渡しします。いつも見守ってくださるお地蔵さまに感謝をしに、お参りにお越しください。



一、日時
記

八月二十三日

（土曜日）

午後三時より

二、会場

須磨寺境内4か所

（親子地蔵、櫻壽院、

蓮生院、正覚院）

※お菓子は、先着順で、
無くなり次第終了と
なります。

阪神・淡路大震災30年

須磨琴保存会 六十周年記念演奏会

いのちをつなぐひとすじに

兵庫県指定無形文化財

須磨琴

- 令和7年
11月15日(土)
- 午後2時開演
(午後1時00分開場)
- 神戸文化ホール 中ホール
- 入場料 2,000円(自由席)

- お申し込み・お問い合わせ
須磨寺 Tel.078(731)0416

- teket(テケット)より電子チケットご購入は右記のQRコードより
(電子チケット販売期間 2025年8月1日~11月15日まで)

※スマホの電池残量や会場の電波状況によりアクセスしにくくなる場合に備えて、
購入完了メールに添付されているPDF形式の電子チケットを、
念の為に印刷してお持ち頂くことをお勧め致します。

